

# Departure Oral Communication I

## 楽しみながら英語力アップ

赤池秀代



「オーラル・コミュニケーション（以下OC）」では、「英語Ⅰ・Ⅱ」や「リーディング」などと比較すると、蓄えた語彙・文法の知識を活性化し、具体的な場面で自ら使ってみる、という目的がより鮮明です。青空に白い紙飛行機、という爽やかな表紙を開けると、この *Departure* の教科書には、様々な工夫が凝らされ、生徒が思わず組みたくなるものがたくさんあります。楽しみながら英語を使ううち、少しずつ力をつける対策が盛りだくさんです。そのいくつかをご紹介します。

### 1. センター試験対策ができる

センター試験によく出されるグラフ・表を読み取るための活動が用意されています。たとえば Lesson 12 には、アメリカ合衆国への移民に関するグラフと表があり、生徒は英文を聞きながら間違いを探し、さらにその内容について深く考える活動になっています。こういう活動は1回やってみると要領がわかるもので、センター試験本番前には是非やらせてみたいものです。

#### Lesson 12 の例

●下のグラフと表の中にはそれぞれ1つずつ間違いがあります。和明の発表を聞いて間違いを探しましょう。

▶ ethnic minority  
多文化民族

▶ cultural background  
文化背景

▶ majority  
多数派

Hispanic  
ラテンアメリカ系の人

Fig. 1  
Source: U.S. Bureau of the Census, decennial census and population projections

Non-English Speakers Who Speak Spanish at Home	
Texas	75%
Florida	69%
California	64%
Illinois	49%
New York	47%

Fig. 2  
Source: American Demographics, February, 1997

●下のグラフと表を参考にアメリカ社会の特徴を考えて発表しましょう。

I think \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

### 2. 文法対策ができる

具体的な場面を与えられると、文法理解が深まります。たとえば、Lesson 10 では、日米の文化の違いを扱っていますが、「自分が食事しているとき、そのレストランで待っている人がたくさんいたら」とか「乗ろうとした電車のドアが目の前で閉まったら」という具体的な状況を与え、would を導入します。「自分だったら…」という状況で“I would”と繰り返し使わせるのです。仮定法は生徒が苦勞する文法項目のひとつですが、頭で覚えるのではなく、「仮定法の心」を学ばせる、といえます。こうして身につけたものはしっかり定着するのではないのでしょうか。

### 3. 自由英作文対策ができる

一部の私立大学や国立大学二次試験でよく見られる自由英作文に対応する力は、一朝一夕にはつきません。単文の英訳とは違い、語彙力や文法力をつけるだけでは十分とはいえません。この形式に慣れていない生徒は、お手上げです。与えられた場面をよくふまえ、自分の意見を相手にわかりやすく伝える訓練をやさしい段階から少しずつ積み上げることが大切です。数を多くこなすことがポイントです。

Lesson 2 では悩みを抱える相手への助言をしたり、Lesson 9 では観光地をひとつ選び、そこへ行きたい理由を述べるという練習をします。それぞれほんの数行のものですが、この種の活動が全部で10箇所ほどあります。これらの活動に取り組むうちに、少しずつ生徒は自由英作文に抵抗が

なくなっていくでしょう。

### Lesson 2 の例

下の2つの手紙は、ラジオの番組「Mrs. Bakerの相談室」に寄せられたものです。どちらかを選び、例のように、Mrs. Baker になつたつもりでアドバイスしましょう。

Dear Mrs. Baker,  
I forgot about meeting Chiharu last Sunday. I said I was sorry, but she hasn't talked to me since then. What should I do?  
Yoko

Dear Mrs. Baker,  
I like English, but I'm not good at it. I want to travel abroad this summer. What should I do?  
Masaki

(例) Advice to Yoko,  
Why don't you write a letter to her? I believe she will understand.

Advice to \_\_\_\_\_,

## 4. コミュニカティブな活動満載

OCの教科書ですから、さまざまなアクティビティがあるのは当然ですが、工夫を凝らした、生徒の興味を引くタスクがたくさんあります。たとえば、Lesson 5のスパイもの、Lesson 11のアメリカ物知り度チェック、Lesson 14のアジア物知り度チェック、などです。また、英語I・IIなどの教科書で環境問題、社会問題などの用語は知っていても、身の回りの物を指す語を知らないことがよくあります。Lesson 3では「ホッチキス、定規、画鋸、ほうき」などの語を使えるような活動が用意されています。

さらに、各Unitのあとに、Vocabulary Boardが設けてあり、生徒が活動する際、語彙不足を補うものとして参考にすることができるようになっています。

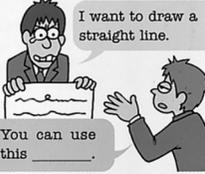
### Lesson 3 の例

(3) I have to put this picture on the wall.



Here are some \_\_\_\_\_.

(4) I want to draw a straight line.



You can use this \_\_\_\_\_.



thumbtack(s)



stapler



broom(s)



ruler

## 5. アジアに目を向ける活動がある

日本とアジア諸国との交流は少しずつ盛んになってきましたが、まだまだ不十分です。英語はもはや英米など英語を母語とする人たちとの間で使われるだけでなく、世界中の人たちとのコミュニケーションの手段になっています。その国々の言語ができれば一番良いのですが、英語を使うことにより、交流の幅が何倍にも広がります。すぐ近くの国々との交流を広げ、深めるために、OCはそのきっかけを作り得る大切な科目です。Lesson 14は、生徒にアジアの国々についてどの程度の知識をもっているかまずクイズ形式で自覚させます。それから、アジアの様々な国の文化について考える機会をもたせる、という狙いがあります。

### Lesson 14 の例

② (1)=タイ、(2)=インドの写真のそれぞれについて、下線部にいろいろな表現を入れて、対話練習しましょう。

(1)



(2)



A: What is she/he doing in picture (1)/(2)?

B: I think \_\_\_\_\_.

A: Oh, I see. Different countries have different customs.

B: Yes. In Thailand/India \_\_\_\_\_ but in Japan \_\_\_\_\_.

**Hint Box**

- ・お評價をする—bow
- ・箸—chopsticks
- ・手を合わせる—put one's hands together

## 6. オールイングリッシュ対策ができる

OCは英語の他教科よりも授業で英語を使うことが期待されます。“Good morning, students. Open your books to page 52.”などから少し進んで、それぞれの活動の指示を英語で出したい場合、自分で全部考えるとなると膨大な時間がかかります。その英語をALTにチェックしてもらうのも毎度となると面倒です。また、ティーム・ティーチングでは、日本人教師がパートナーのALTと教科書の活動について英語で話し合う必要があります。授業そのものより、この打ち合わせの方に苦勞することもあります。これらの際、大きな助けになるのが *Departure* に用意された

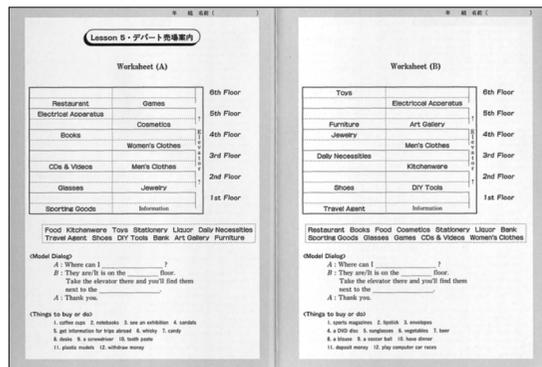
ALT用の教科書です。指示文などがすべて英語で書いてありますので、日本人ひとりで授業を英語でやる時にも、チーム・ティーチングの準備にもとても便利です。

## 7. レベルアップ対策ができる

「教科書の活動だけでは物足りない」「もっと発展的なタスクがほしい」などという場合にぴったりなのが、別冊の言語活動集です。生徒が喜びそうな楽しい活動が盛りだくさんです。

たとえば、Lesson 3では、Show and Tellの活動を紹介していますが、その活動に使える絵を4枚用意し、先生方がそのまま選んでコピーすればいいようになっています。手軽にできるところがポイントです。Lesson 4では自分が与えられた situation (5つある)を読み、パートナーと話し合って8つある週末の plan から自分たちに一番いいものを選ぶ、という活動を用意してあります。Lesson 5では、デパートの案内図を完成させる活動ですが、生徒はABのペアになり、それぞれ違うワークシートをもらいます。それぞれの課の仕上げとしても適しています。

### Lesson 5 の例



\*

イラストやカラー写真が豊富で楽しそうだけど、一見したところ簡単すぎる、という印象をもたれるかもしれませんが、それぞれの活動の内容はやり方次第では、非常に深く高度になります。また、逆に Lesson 4 の Task (映画館派かビデ

オ派かという簡単なディベート) などとても、という場合には、生徒に自由に自分の意見を出させて他の生徒のものと比較するだけでも意義ある活動になります。

生徒が楽しんで英語を使うお手伝いとして、どうぞ *Departure* をご活用ください。

(あかいけ ひでよ・浦和明の星女子中学・高等学校教諭)

## Departure の指導資料・副教材

### ◆充実した指導資料

#### ① 教授用指導資料 [3分冊・B5判・定価9,450円]

##### (1) Teacher's Manual

指導手順や豊富な対話例を用意。また異文化理解には特別に配慮し、そのまま授業で使える情報を掲載しました。

##### (2) 言語活動集

その課で扱ったトピックに関連した活動集。生徒に配れるシート1枚と、和文・英文の詳細な手順、授業で予想される英文展開例を用意しました。

##### (3) 評価問題集

各課とも「標準編」と「発展編」の2種類を用意しました。「発展編」では、大学入試を意識した問題作成を心がけました。

#### ② Departure OC I For ALT [B5判・定価1,575円]

*Departure* の英語版。これを使えば英語で授業が展開できます。

#### ③ 指導用 CD

[5枚組・スクリプトブック付・定価14,700円]

スローとナチュラルの2パターンの速さで録音。

#### ④ 指導用 CD-ROM [定価7,350円]

(1) Dialog を使ったディクテーション問題作成ソフト (2) 教科書本文 (3) リスニングスクリプト (4) 評価問題集 (5) 評価問題集のリスニングスクリプト

### ◆新しい発想による生徒用副教材

#### ① 学習ノート [B5判・定価480円]

生徒が授業中に行った活動をその場で形に残すことができる新しいコンセプトのノート。その課で習ったことのまとめのページもあり、語彙・発音・文法までしっかりおさえられます。

#### ② 生徒用 CD [定価980円]

発音練習、ダイアログ、機能的表現を取録。自宅学習用です。